

手から全身へ広がった浸出症状を経て仕事へ復帰した成人アトピーの経過 (30 歳 男性)

症例 ID：001-30-TYo | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

小児期から手と背中に乾燥があり、高校卒業後に皮革を扱う仕事へ就いてから手荒れが強くなりました。皮膚科で内服薬と外用薬を繰り返し使用しました。症状は手から全身へ広がり、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	手荒れと全身症状に対して、皮膚科で外用薬と内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	就職後から松本医院受診前まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
就職後	症状悪化	皮革に触れる仕事を始めてから手荒れが年々強くなりました。
治療開始	治療変更	従来の薬を中止し、煎じ薬、漢方入浴などを開始しました。
治療初期	症状拡大	全身が赤く腫れ、浸出液が出て、通常生活が難しい状態となりました。
約 2 か月間	ピーク期	強い症状が続き、家族や勤務先の支援を受けました。
その後	改善傾向	浸出液が止まり、皮膚状態が受診前より滑らかになりました。
7 月中旬頃	生活回復	通常どおり仕事を続けられる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは治療初期、全身から浸出液が出て皮膚の腫れと強いかゆみが続いた約 2 か月間です。

5. 困りごと

- 仕事の継続が難しい時期があり、家族と勤務先の支援が必要でした。
- 全身の浸出液に対する日常的な処置が必要でした。

6. 経過のまとめ

約 2 か月の強い症状を経て浸出液が止まり、皮膚は受診前より滑らかになりました。

記録時点では通常どおり仕事をされていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。